

競技会で使用する略語・略号

1 スタートリスト・リザルトに用いる略語・略号 (132条4)

*一部は記録用紙にも使用

略号	日本語表記	読み / 意味
DNS	欠場	Did Not Start
DNF	途中棄権 (トラック競技)	Did Not Finish
NM	記録なし	No valid trial recorded
DQ	失格 (各競技規則条文番号も記載)	Disqualified
○	成功・有効試技 (走高跳・棒高跳)	Cleared
×	失敗・無効試技	Failed
—	パス	Pass
r	試合放棄 (離脱) (フット競技、混成競技)	Retired from competition
Q	順位による通過者	Qualified 備考②参照
q	記録による通過者	qualified 備考②参照
q R	審判長等の決定による通過者	Advanced to next round by Referee
q J	ジュリーの決定による通過者	Advanced to next round by Jury of Appeal
<	ベント・ニー (競歩)	Bent knee (Race Walking) 備考③参照
~	ロス・オブ・コンタクト (競歩)	Loss of contact (Race Walking) 備考③参照
YC	警告	Yellow card
YRC	2回目の警告	Second Yellow card
RC	レッドカードによる失格	Red card

・競技者が規則違反で失格になった場合には、公式記録にはどの規則に違反したかを明記する。(例: DQ T1)

・競技者が競技者にあるまじき行為や不適切な行為で失格になった場合には、失格の理由について公式記録に明記する。

2 記録用紙、電光掲示盤等で用いる略語・略号

記録用紙、電光掲示盤等への表記は、下記の略号等を用いて簡潔に表記してください。

また、略語 (略号) を使用する場合は、使用する略号一覧と説明等をプログラムに記載して観客、競技者に意味が分かるようにしてください。

*スタートリスト・リザルトにも可能であれば必要な略号と説明を記載してください。

略号	日本語表記	読み / 意味
WR	世界記録	World Records
=WR	世界タイ記録	Equal World Records
W I R	室内世界記録	World Indoor Records
=W I	室内世界タイ記録	Equal World Indoor Records
W J R	U20世界記録	World U20 Records
=W J	U20世界タイ記録	Equal World U20 Records
W J I	室内U20世界記録	World U20 Indoor Records
=J I	室内U20世界タイ記録	Equal World U20 Indoor Records
N R	日本記録	National Records
=N R	日本タイ記録	Equal National Records
N I R	室内日本記録	National Indoor Records
=N I	室内日本タイ記録	Equal National Indoor Records
N J R	U20日本記録	National U20 Records

= N J	U20日本タイ記録	Equal National U20 Records
N J I	室内U20日本記録	National U20 Indoor Records
= J I	室内U20日本タイ記録	Equal National U20 Indoor Records
N Y R	U18日本記録	National U18 Records
= N Y	U18日本タイ記録	Equal National U18 Records
N Y I	室内U18日本記録	National U18 Indoor Records
= Y I	室内U18日本タイ記録	Equal National U18 Indoor Records
G R	大会記録	Game Records 備考①参照
= G R	大会タイ記録	Equal Game Records 備考①参照

2019_02改訂 (陸連No. 35)

注・・・U 2 0 (競技会が行われる年の12月31日現在で18歳あるいは19歳の競技者)

注・・・U 1 8 (競技会が行われる年の12月31日現在で16歳あるいは17歳の競技者)

※・・・ただし、U 2 0 の記録は19歳以下、U 1 8 の記録は17歳以下が出した記録が認定される。

*備考

- ① 大会記録の表示は、大会の規模や性格により表現が異なるため、国内大会では従来のとおり大会記録 (GR) を使用して下さい。

ただし、国体や国際大会など競技運営システムで対応可能なものについては、下記の略語 (例) などに対応をお願いします。

例) 国体 【 GR: Game Records 】、日本選手権 【 CR: Championship Records 】
 ゴールデングランプリ 【 MR: Meet Records 】

- ② 「Q、q、q R、q J」について

- 1) トラック競技の場合 (例 3組2着+2)

Q: 各組2着以内の競技者 → Qualified by place

q: 3着以下で、記録が上位の競技者2名 → qualified by time

q R: 審判長等の決定による通過者

q J: ジュリーの決定による通過者

- 2) フィールド競技の場合

Q: 予選通過標準記録突破者 Qualified by pre-set standard

q: 規則第180条15による決勝進出者 qualified as per rule 180 15

q R: 審判長等の決定による通過者

q J: ジュリーの決定による通過者

* 予選通過標準記録を突破した競技者が12名に満たない場合、決勝進出者を12名とすることから、予選通過標準記録突破者に (Q) を、規則第180条15による決勝進出者に (q) をつける。

- ③ 競歩競技のベント・ニー (<)、ロス・オブ・コンタクト (~) について

(<)、(~) の略号は競技運営上、競技者にパドルや掲示板で示す場合や記録用紙に違反のマークとして使用される。したがって、大型映像やリザルトに失格の理由が表示される場合は、DQと下記のK1~K5の表記が用いられる。

- ④ 失格の理由等は、略号等を使用して表記して下さい。その略号は、主催団体が決めてかまいません。

陸連No. 35)

失格の理由を示す略号 (例)

略号	内容	Rules
FS	不正スタート	R162-8
T1	他の競技者を妨害した	R163-2
T2	他のレーンに入った	R163-3(a)
T3	縁石のうえ、内側ライン上またはその内側を走った	R163-3(b)
T4	ブレイクライン手前でレーンを離れ内側に入った	R163-5
T5	競技者がトラックから勝手に離脱した	R163-6
T6	ハードルを越えなかった	R168-7
T7	足又は脚がハードルをはみ出してバーの高さより低い位置を通った	R168-7(a)
T8	故意にハードルを倒した	R168-7(b)
R1	テイク・オーバーゾーン内でバトンパスが完了しなかった	R170-7
K1	ロス・オブ・コンタクト で3名以上がレッドカードをだした	R230-7(a)
K2	ベント・ニー で3名以上がレッドカードをだした	R230-7(a)
K3	ロス・オブ・コンタクトとベント・ニーで3名以上がレッドカードをだした	R230-7(a)
K4	ロス・オブ・コンタクト で競歩主任が単独で失格にした	R230-4(a)
K5	ベント・ニー で競歩主任が単独で失格にした	R230-4(a)
K5	ベント・ニー で競歩主任が単独で失格にした	R230-4(a)

2019_02改訂 (陸連N o. 35)

世界記録・アジア記録が公認されるための要件

【全般】

(IAAF 規則第260条 世界記録を参照)

要件	規格 規則	IAAF/AAAが承認に必要な資料・署名など
IAAF競技規則の適用	260.1	競技会はIAAF規則に基づいて実施
記録の種類	260.2	IAAF/AAAが承認する記録・世界記録/アジア記録・U20世界記録/U20アジア記録 ・室内世界記録/室内アジア記録・U20室内世界記録/U20室内アジア記録
最少参加者数	260.1	・個人種目は3人以上 ・リレー種目は2チーム以上
提出書類	260.6	IAAF所定の用紙で30日以内に申請 種目に応じて次の役員の署名 ・審判長 ・写真判定員主任(または計時員3名,またはトランスポンダー主任)・スターター ・風力計測員・フィールド審判員3名・計測員(科学)・技術総務・ドーピング検査担当者(DOC) ・国際陸上審判員3名・IAAF/AIMS自転車計測員*コース計測担当とコース設置確認担当
提出物	260.7	・申請書・競技会のプログラム(もしくは電子データ)(260.7(a))・当該競技に関するすべての結果(260.7(b)) ・フィニッシュの判定写真とゼロコントロールストの写真(260.7(c))
ドーピング検査	260.3(e)	・競技終了後のドーピング検査の実施(リレーは全てのメンバー)
IAAF認証の施設	260.12(a)	・IAAFの認証の施設=IAAFクラス1またはクラス2を既得もしくはIAAF基準で検定し、事後の計測報告書 (IAAF書式)提出 *日本陸連は、世界記録申請にあたり、IAAFクラス1またはクラス2取得を義務付け
男女混合の制限	147 261(注案3)ii	・トラックでは、フィールド種目を除き、男女混合の競技でないこと ・女子記録種目は、男女混合と女子単独の2つの世界記録を承認する ・道路競歩は、男女混合は認められない。
国際陸上審判員	260.19	・競歩種目では、少なくとも3人の国際陸上審判員(IAAFレベル/地域レベル)

【トラック競技】

要件	規格 規則	IAAF/AAAが承認に必要な資料・署名など
計時方法 (手動計時・写真システムで記録計時)	260.14(a)	・800m(4×200m)以下および4×400m(以下を含む)まで:写真判定装置(260.14(b))・800mを超えるトラック種目:写真判定装置または手動計時
非機械的風速計の使用	260.14(c)	・200m以内の屋外種目では、第163条6~13に規定される方法で測定された風速の報告 ・163条9:非機械的(超音波)風向風速計の使用
スタート・インフォーマンシステム(400m(4×200m)以下および4×400m(以下を含む)までのすべてのレース)	260.14(a)	・第261条(シニア)及び第263条(シニア室内)の400mまでは、IAAF認定のスタート・インフォーマンシステム使用

【フィールド競技】

要件	規格 規則	IAAF/AAAが承認に必要な資料・署名など
計測方法	260.17(a)	・鋼鉄製巻尺、または高度計を使用し、3人の審判員が確認 ・科学計測装置で計測(EDM/VDM) *鋼鉄製巻尺との誤差確認が必要
非機械的風速計の使用	260.17(b)	・走幅跳と三段跳では、第184条10~12に規定される方法で測定された風速の報告 ・163条9:非機械的(超音波)風向風速計の使用
投てき物の再検査	260.17(d)	・使用された投てき物へのマークと競技後の検査

【道路競技(競走・競歩)】

要件	規格 規則	IAAF/AAAが承認に必要な資料・署名など
計時方法	260.14(a)	・手動計時・写真判定・トランスポンダーシステムで記録計時
コースの自転車計測	260.20(a) 260.21(a)	・IAAF/AIMS 自転車計測員のA級またはB級によって計測
コースの条件	260.21(b) 260.21(c) 260.20(b)	・道路競走では、次の条件を満たす ・セパレーション・エレベーション ※道路競歩では、1周が1km以上25km以下
レース当日のコース確認	260.21(d) 260.20(c)	・IAAF/AIMS 自転車計測員により、当日のコース設置が正しくなされているかの確認
コース再計測	260.21(a) 260.20(d)	・IAAF/AIMS 自転車計測員による再計測 ただし、コース計測がA級1名を含む2名以上で実施され、うち1名が当日の設置確認を実施した場合は不要
記録申請に使用する用紙類	リンク先	①トラック競技 ②フィールド競技 ③道成競技 ④道路競技 ⑤競歩競技(トラック・道路) *記入例

補完資料	トラック 競走 投てき	科学計測誤差確認書 科学計測誤差確認書 用具確認
------	-------------------	-----------------------------

世界記録・アジア記録・日本記録が公認されるための要件 確認リスト

【トラック競技】

種目	世界記録	アジア記録	UOS 世界記録	アジア記録	UOS 国内世界記録	国内アジア記録	UOS 国内アジア記録	国内日本記録	UOS 国内日本記録	国内日本記録	UOS 国内日本記録
IAAF競技規則の適用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国際陸連(アジア陸連)への公式記録申請	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IAAFのクラス以上の施設であること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
判定専重とゼロコンロートルテストの専重抽出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドーピングテストの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計測方法 (写真計測・写真システムで記録計測)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
写真判定装置の使用(~800m(4×200m)~および4×400m(1~および4×400m)~を含む)まで	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スタート(スタートジョン・スタート) (~400m(4×200m)~および4×400m(1~を含む)まで)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非機械的風速計の使用(~200mまで)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人種目で3人以上、リレー種目で2チーム以上の出場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
男女混合でないこと(第147条において適用外あり)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
競技種目・国際競争審判が少なくとも83人以上	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○...必須、~はなくてもよい。

【フィールド競技】

種目	世界記録	アジア記録	UOS 世界記録	アジア記録	UOS 国内世界記録	国内アジア記録	UOS 国内アジア記録	国内日本記録	UOS 国内日本記録	国内日本記録	UOS 国内日本記録
IAAF競技規則の適用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国際陸連(アジア陸連)への公式記録申請	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
IAAFのクラス以上の施設であること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ドーピングテストの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非機械的風速計の使用(走幅欄・三投種)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人種目で3人以上、リレー種目で2チーム以上の出場	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計測方法 (網球型室内、または高度計で計測し、3人の審判員が確認。又は、写真計測装置(CODAS, XODAS)で計測)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
投てき物の再検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○...必須、~はなくてもよい。

【ロード競技】

○…必須／～はなくてもよい。

種別 項目	世界記録	アジア 記録	アジア記録 アジア記録	日本記録	アジア 記録	日本記録	アジア 記録	日本記録
IAAF競技規則の適用	280.1	○	○	○	○	○	○	○
国際陸連(アジア陸連)への公式な記録申請	280.6	○	○	○	○	○	○	○
ドーピングテストの実施	280.3(a)	○	○	○	○	○	○	○
個人種目で3人以上、リレー種目で2チーム以上の出場	280.3(a)	○	○	○	○	○	○	○
計測方法 (手動計測・写真判定・自動応答システムで記録計測)	280.14(a)	○	○	○	○	○	○	○
国際競争審判が少なくとも3人	280.19	○	○	○	○	○	○	○
コースの自転車計測 (IAAF-AMS計測員AまたはB級)	280.20(a) 280.21(a)	○	○	○	○	○	○	○
コースの条件 (セパレーション・エンベージョン) ※道路幅歩は1箇が10m以上20m以下	280.21(b) 280.21(c) 280.20(b)	○	○	○	○	○	○	○
レース当日のコース確認 (IAAF-AMS計測員により設置が圧しなくてはならない)	280.21(d) 280.20(c)	○	○	○	○	○	○	○
コース再計測 (1人1名を名前で計測され、当日、うち1名が監理確認を実施した場合を必要)	280.21(e) 280.20(d)	○	○	○	○	○	○	○

※ロードレースの途中計測については、記録が認められることがあるので、第260条21(f)を参照のこと。

* 国外で日本記録(UD20-U18を含む)、日本連の記録(UD20-U18を含む)を上回る同等の成績を記録した場合には、陸連事務局に即時連絡すること。

* 国外に選定する場合には、登録証明書海外用を事前に作成し選定表に提出しておく、記録証明などを入手し、(記録用紙参照)

日本陸上競技連盟新(タイ)記録申請書

日本陸上競技連盟陸上競技規則によって.....日本.....(新・タイ)記録を申請する。

1. 種目 男子 100m
2. 道路競技種目: スタート地点と計測地点の距離と下り勾配 (規則 28、29 条に適合している)
3. 記録(時間・高さ・距離) 9秒98 風速(+) - 1.8
4. 競技者氏名・所属(ジュニア競技者の場合は生年月日を付記する。)
氏名(フル名) 桐生 祥秀 所属 東洋大学 (埼玉 都道府県)
生年月日 0000年00月00日
(リレー競走の場合はチーム名と競技者氏名・所属)
①氏名 所属 () 生年月日
②氏名 所属 () 生年月日
③氏名 所属 () 生年月日
④氏名 所属 () 生年月日
⑤氏名 所属 () 生年月日
⑥氏名 所属 () 生年月日
5. 期日 2017年9月9日
6. 場所(競技場名と所在する都道府県市区郡町村名) 福井県福井運動公園陸上競技場 (福井県福井市)
競技場コード 201010
7. 競技会名 天皇賜盃 第86回日本大学生陸上競技対校選手権大会
競技会コード 17600101

役員 の 証 明

私たちは、上記の記録がつくられた時に示され、それが日本陸上競技連盟競技規則によったものであることを確認する。

総務自署 署 名 (トック)・(イット) 審判長自署 署 名

投てき物の検査

技術総務自署.....

道路競技

JRWJ_1 自署.....

JRWJ_2 自署.....

JRWJ_3 自署.....

加盟団体・協力団体の申請書

日本学生 (陸上競技協会・陸上競技連合) は上記記載事項が正確であることを確認し上記の記録を申請する。

申請日 2017年9月9日 会長 署名 専務理事 署名

印

受理 年 月 日 日本陸上競技連盟 会長

同 専務理事

2014.02 改訂 (陸連 No.30)

ゼロコントロールテスト立会者・判定写真確認者 用紙

競技年月日 : 2017年 9月 9日

写真判定装置 メーカー名 : ○○○○

メーカー型番 : 12345

ゼロコントロールテスト 立会者

担 当

氏 名

スタート審判長(トラック審判長)

署 名

写真判定主任

署 名

判定写真 確認者

担 当

氏 名

写真判定主任

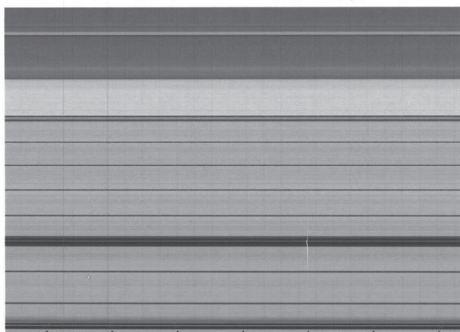
署 名

写真判定員

署 名

テスト実施時刻 2017/06/09 07:59:45

タイム
0.000



トラック審判長:

署名

スターター主任:

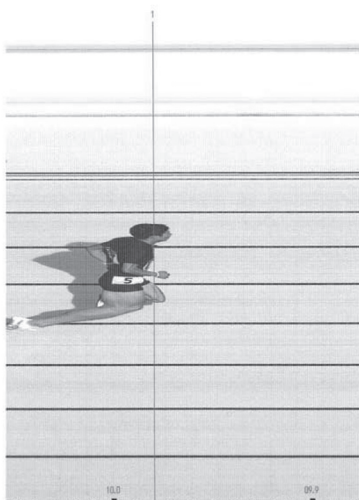
署名

写真判定主任:

署名

ゼロコントロールテスト結果

陸上競技場



【 記 録 表 】

Time:16:25:21 Page: 1

天皇賜盃 第86回日本学生陸上競技対校選手権大会

主 催:公益社団法人日本学生陸上競技連合

協 賛:ミスノ

競技場:福井運動公園陸上競技場

* 男子 100m 決勝 *

測定区分:電計0.01秒

2017-09-09 15:30

世界記録【WR】	9.58	U.ボルト	(ジャマイカ)	2009
日本記録【NR】	10.00	伊東 浩司	(富士通)	1998
日本学生記録【UR】	10.01	桐生 祥秀	(東洋大)	2016
大会記録【GR】	10.08	桐生 祥秀	(東洋大)	2016
参加標準記録	A 10.45 / B 10.56			

風:+1.8

順位	レーン	No.	氏 名	所属団体名	記録	備考
1	5	257	陸上 太郎	〇〇AC	9.98	NNR NGR NUR
2	3	799			10.07	NGR
3	4	205			10.31	
4	6	406			10.32	
5	7	510			10.36	
6	2	204			10.36	
7	8	206			10.41	
8	1	673			10.51	

(NNR:日本新記録 / NGR:大会新記録 / NUR:日本学生新記録)



Application for an Asian Record ROAD RUNNING EVENT

This form must be completed and dispatched within 30 days of the World Record performance (cf: Rule 260.6) to:

INTERNATIONAL ASSOCIATION OF ATHLETICS FEDERATIONS
6-8 Quai Antoine 1er, BP 359, MC 98007 Monaco Cedex

APPLICATION IS HEREBY MADE FOR THE RATIFICATION OF THE FOLLOWING RECORD, IN SUPPORT OF WHICH THE BELOW INFORMATION IS SUBMITTED: *(Please type or use block capitals, tick where appropriate.)*

APPLICATION DATA

Event (e.g. 15km, Marathon):	Marathon	<input checked="" type="checkbox"/> Men	<input type="checkbox"/> Women
Record Time Claimed (e.g. 41:13, 2:03:38):	2:05:50		
Full Name of Athlete:	OSAKO, Suguru		
Country of Athlete:	Japan		
For Relay Events, the full names of all team members, in the order of running:			
Name of Competition:	Bank of America Chicago Marathon 2018		
Date of Event:	7 October 2018	Time of Event:	7:30am
City / Course:	Chicago, IL, USA / Chicago Marathon Course		
Country:	United States of America		

RESULTS OF COMPETITION

	Name	Country	Result
1st:	FARAH, Mo	GBR	2:05:11
2nd:	Bayih, Mosinet Geremew	ETH	2:05:24
3rd:	OSAKO, Suguru	JPN	2:05:50

STARTER

I certify that the start of the race was in accordance with IAAF Rules.	
Starter:	DRENNAN, Bill
Signature:	署 名

FULLY AUTOMATIC TIMING (if applicable)

Make of Timing Device:	FinishLynx
Official Time Recorded:	2:05:50
Chief Photo Finish Judge:	KRUPA, Jon
Signature:	署 名

TRANSPONDER TIMING (if applicable)

Type and Make of Transponder:	MYLAPS BibTag UHF Foam Tag
Official Time Recorded:	2:05:50
Chief Transponder Timing Judge:	KRUPA, Jon
Signature:	署 名

HAND TIMING (if applicable)

I, the undersigned official timekeeper of the event mentioned on this form, do hereby certify that the time set opposite my signature was the exact time recorded by my watch and that the watch used by me has been certified and approved by my National Federation.

Time:	Name:	Signature:
Time:	Name:	Signature:
Time:	Name:	Signature:

I confirm that the above Timekeepers exhibited their watches to me and that the times were as stated.

Chief Timekeeper or Referee:
Signature:

COURSE

I, an "A" or "B" grade IAAF/AIMS approved course measurer, hereby certify that I have measured the course over which this event was held.

Measured Race Distance:	42.195km
The start and finish points of the course, measured along a theoretical straight line between them, are not further apart than 50% of the race distance.	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
The decrease in elevation between the start and finish does not exceed one in a thousand, i.e. 1m per km.	<input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
Measurer:	MARQUEZ, Neyl
Qualification:	IAAF-AIMS A
Signature:	署 名

VALIDATION

I, an "A" or "B" grade IAAF/AIMS approved course measurer in possession of the complete measurement data and maps, certify that the course measured was the course run by the athlete.

Measurer:	MARQUEZ, Neyl	Qualification:	IAAF-AIMS A
Signature:	署 名		

DOPING CONTROL

I, a member of the Doping Committee for the Competition, certify that a sample for a doping test was obtained in accordance with IAAF Rules from the above mentioned athlete in my presence and dispatched to the following accredited laboratory:

NOTE: For relays, samples must be obtained from ALL members of the team.

Date and Time of Doping Sample Collection: 7 October 2018, 10:56

Testing Laboratory: SMRTL, United States

Doping Control Officer: MOORE, Kristi

Signature: 署名

GUARANTEE BY REFEREE

I hereby certify that all the information recorded on this form is accurate, that the officials conducting the Competition were duly qualified and that the appropriate IAAF Competition Rules were complied with.

Referee: SAVAGE, Patrick

Signature: 署名

THE FOLLOWING MUST BE ENCLOSED WITH THIS APPLICATION

The printed programme of the Competition, the complete results of the event including the Photo Finish and Zero Test image in the case of a record where Fully Automatic Timekeeping was in operation, Judges' Score Sheet, Official Results, Measurement and Re-measurement Report, Doping Control Form.

Additional Information For Historical Purposes

Weather Conditions: Start 7:30am 60F RH82% / Halfway 8:33am 60F RH79% / Finish 9:35am 61F RH80%

Intermediate Times: 5km 14:53 / 10km 30:12 / 15km 45:07 / 20km 59:51 / HALF 1:03:04 / 25km 1:15:19 / 30km 1:29:46 / 35km 1:44:17 / 40km 1:58:59

If Available: Video of the Record for IAAF Use Photograph of the Athlete Press Cuttings

RECOMMENDATION BY IAAF MEMBER FEDERATION

The undersigned IAAF Member hereby certifies that it is satisfied with the accuracy of this application and recommends it for acceptance:

IAAF Member Federation: Japan Association of Athletics Federations

President or CEO: (Name) Hiroshi YOKOKAWA

Signature: 署名

IAAF APPROVAL

IAAF President	Date	IAAF CEO

競技会開催に関する公認申請

加盟団体あるいは協力団体が直接主催する公認すべき競技会および、それらの下部組織が主催する公認すべき競技会について、加盟団体あるいは協力団体は、事前にそれぞれの競技会要項が公認競技会開催のすべての条件を満たすものであるか審査を行う。加盟団体あるいは協力団体が管轄する全ての公認すべき競技会を一覧表に示し、事前に本連盟に申請する。

1月上旬までに加盟団体あるいは協力団体宛に、本連盟より申請書作成を依頼する。申請書の締め切りは2月下旬を基準に示され、期日までに申請のあった競技会が4月までに陸連ホームページに掲載されて開催申請手続きが完了する。ここに掲載された競技会のみが国内の公認競技会として認定される。

例外として加盟団体あるいは協力団体が管轄する主要な駅伝競走の競技会もここに掲載する。(駅伝競走は、検定されていない距離の使用、公認コースを使用しない場合がある点において例外的である)

(1) 開催が認められる競技場

公認すべき競技会が開催される競技場は、別途本連盟に申請され認可を受けたものでなければならない。競技場の公認には期限があり、競技会の開催日がこの期限内にあることが条件となる。

諸事情により、競技場の公認期限が切れて新たな申請の延長願いが出される場合があるが、この延長期間に公認競技会を開催することはできない。(詳細は本連盟施設用器具委員会に問い合わせること)

(2) 道路競走に関する留意事項

ロードレースなどの道路競走の開催申請にあたっては、実施される各距離の中でも本連盟の検定を受けている距離についてのみを競技会名に続いて(距離)の形で示す。

〔記載例〕※()内が検定を受けている距離

第51回青梅マラソン(30km, 10km)

17130746 青梅30kmコース

東京マラソン2017(マラソン) 17500011 東京マラソン

主催者はエントリーの際に競技者の登録の有無を確認する。プログラムに登録者であることがわかるように表示する。登録者は所属団体名・登録都道府県名を表記する。未登録者は所属名を表記しないことが望ましい。

(3) 日程が連続していない同一競技会

1つの競技会で、日時が離れて開催する場合は、それぞれの連続する日程ごとに記載する。競技会コードは同一とする。

〔例〕5月10日～11日、5月17日～18日 第70回東京高校対校選手権 17131001 →
5/10～11 第70回東京高校対校選手権 17131001
5/17～18 第70回東京高校対校選手権 17131001

(4) 年度内に複数回開催される競技会

1つの主催者が、年度内に同様な競技会を複数回開催する場合は、それぞれの連続する日程ごとに記載し、競技会コードは別々とする。競技会名に競技会の回数や時期などを示し区別がつくようにする。

〔例1〕4/6、10/11～12、11/23 東京高体連強化競技会 →
4/6 第1回東京高体連強化競技会 17131004
10/11～12 第2回東京高体連強化競技会 17131006
11/23 第3回東京高体連強化競技会 17131008

〔例2〕5/3～4、9/23 ○○区陸上競技大会 →
5/3～4 ○○区春季陸上競技大会 17130707
9/23 ○○区秋季陸上競技大会 17130908

年末年始に開催される競技会が、都合により同一の年度内開催となった場合は同じ競技会コードを使用してよい。

(競技会期日、記録申請日等で判別が可能のため)

〔例〕2017年4月に開催されたロードレース大会の次回開催が、年度内となる2018年3月になった場合など。

(5) 競技会コードに関する事項

すべての公認競技会は特有の競技会コードを持つ。競技会コードは8桁の数字で表され、年度ごとに開催される競技会は原則として下6桁を固定する。競技会コードは本連盟および加盟団体あるいは協力団体で管理し、付与する。

①競技会コードの構造

(例：第101回日本陸上競技選手権 17500100)

17 50 0100

開催年(2017年) 主催(日本陸連) 競技会名(日本選手権)

【年度】西暦の下2桁で示す

【主催】01～47…都道府県, 50…全国・地域(ブロック)大会,
60～69…学生連盟

【競技会名】4桁の数字で示す

② 競技会名を示す4桁の区分

競技会コードのうち競技会名を示す下4桁は、原則としてその競技会内容に応じて以下のように区分する。

〈都道府県内〉

0001～0200 都道府県規模… 選手権, 駅伝, ロードレース,
国体予選, 競歩, 定通制, ジュニア, 小学生大会予選

0301～0400 都道府県規模… 記録会

0501～0600 郡または都道府県内ブロック規模…
選手権, 駅伝, ロードレース, 記録会

0701～1000 市区町村規模… 選手権, 駅伝, 記録会

〈高校生の競技会〉

1001～1200 都道府県規模… 選手権, 総体, 駅伝,
ロードレース, 新人

1301～1400 都道府県規模… 記録会

1501～1600 郡または都道府県内ブロック規模…
選手権, 駅伝, ロードレース

1701～2000 市区町村規模… 選手権, 駅伝, ロードレース,
記録会

2001～2200 都道府県および都道府県内ブロック規模…
地区, 新人

2301～2400 地区記録会

〈中学生の競技会〉

3001～3200 都道府県規模… 選手権, 総体, 駅伝,
ロードレース, 新人

- 3301～3400 都道府県規模… 記録会
 3501～3600 郡または都道府県内ブロック規模…
 選手権, 駅伝, ロードレース
 3701～4000 市区町村規模… 選手権, 駅伝, ロードレース,
 記録会
 4001～4200 都道府県および都道府県内ブロック規模…
 地区, 新人
 4301～4400 地区記録会
 〈全国規模の競技会〉

- 0001～0999 日本陸連主催
 1000～2999 地域陸協主催の地域選手権, 地域競技会
 4000～4699 実業団連合の全国競技会, 地域競技会
 5000～5099 日本マスターズ陸上連合主催競技会・管轄競技会

新規に開催される競技会のコードは, 【主催】01～47にあたる競技会は加盟団体が, 【主催】50にあたる競技会は本連盟競技運営委員会が, 【主催】60～69にあたる競技会は日本学連がそれぞれ付与する。

競技会名はその競技会規模や地域性, 競技会の性質などを明確に示すものが望ましく, 特に道路競技(マラソン, ハーフマラソン, ロードレースなど)の名称には留意する。

(参考)

地域	都道府県コード* (2017より団体方式に変更)						
1 北海道	北海道 01						
2 東 北	青森 02	岩手 03	宮城 04	秋田 05	山形 06	福島 07	
3 関 東	茨城 08	栃木 09	群馬 10	埼玉 11	千葉 12	神奈川 14	山梨 15
4 東 京	東京 13						
5 北 陸	新潟 16	長野 17	富山 18	石川 19	福井 20		
6 東 海	静岡 21	愛知 22	三重 23	岐阜 24			
7 近 畿	滋賀 25	京都 26	大阪 27	兵庫 28	奈良 29	和歌山 30	
8 中 国	鳥取 31	島根 32	岡山 33	広島 34	山口 35		
9 四 国	香川 36	徳島 37	愛媛 38	高知 39			
10 九 州	福岡 40	佐賀 41	長崎 42	熊本 43	大分 44	宮崎 45	鹿児島 46
	沖縄 47						

日本学生連合 地区学生連盟コード

学連 60	北海道 61	東北 62	関東 63	北信越 64	東海 65	関西 66	中四国 67
	九州 68						

公認競技会開催申請書作成の留意点（競技会コード、会場は1北海道01の例）

別冊 B-8 C-8 D-9 E-50

F3 G3 H4 I-35

J-10

14P-20 1 **地域・〇〇都道府県/協力団体

11P

月	日	競技会・行事	競技会コード	会場	競技場コード
4	2 8~9	'17 道南陸協第1回記録会 第19回 阿部重広校長距離競技会	17 01 0551 17 01 0302	札幌市円山競技場 帯広の森陸上競技場	012010 012100
		競技会名は、できるかぎり正確に記載して下さい。	競技会コード 番号を4桁で入力してください。		
5		日付は、開催される日だけを記載してください。 日数が複数になる場合は、 初日～最終日の形式で記載してください。 曜日は入れなくてください	都道府県・陸連・地区学連コード No. を入力してください。 0 1 ~ 4 7, 5 0, 60XX ~ 69XX		
6		西暦年の下2桁を記載してください。	最新版のルールブックを参照し、競技場コードを公認陸上競技場・競走路・競歩路から選んで、入力してください。 また、年度途中で更新・新設されたものは、陸連から通知されたコードを記載してください。		
7		道路競技（マラソン・ロードレース等）は公認される実施種目を（ ）で示してください。	駅伝競走の会場は、コース名またはスタート地点～フィニッシュ地点の形で記載してください。		
8	27	2017北海道マラソン(マラソ/ハーフマラソ/10km)	17 50 1007	北海道マラソン	017420
9			17 50 1003	北壮市高校駅伝特設コース	
10	22	第99回 北海道高等学校男子駅伝競走大会			
11	公認競技会の申請書は、すべて電子データにより作成されます。				
12	エクセルシートに必要事項を入力し、所定の期日までにメール送信し、陸連ホームページに掲載されることで手続きが完了します。				
2018/1					
2	申請後に、気象災害等の理由で中止された競技会は欄外に移動し赤色でマーキング（色付）してください。				
3	1月~3月の競技会コードは 18 から始まります。				
【中止競技会】					
10	15	秋季記録会第2戦	17 01 0491	帯広の森陸上競技場	012100